



春の叙勲・危険業務従事者叙勲

国や公共に対し功労のあった3人に勲章が授与されました。
また、危険性の高い業務に精励した大関さんに、勲章が授与されました。

瑞宝単光章
(消防功労)



元栗原市消防団副団長
岡 義憲 さん
(若柳新町1)

このたびの受章は、
若柳地区の皆さんや、
共に活動した消防団員
のおかげです。今後も地
域に貢献していきます。

瑞宝単光章
(消防功労)



元栗原市消防団分団長
三塚 秀夫 さん
(一迫清水二)

職場や地域、家族の
理解があったからこそ、
長年務め上げることが
できました。ありが
うございました。

瑞宝単光章
(消防功労)



元栗原市消防団分団長
千葉 信義 さん
(金成梨崎下沢辺)

家族や周囲の協力の
おかげで受章できたと
感じています。皆さま
に心から感謝申し上げ
ます。

瑞宝双光章
(消防功労)



元栗原市消防司令長
大関 陽悦 さん
(栗駒宝領)

身に余る光栄です。
約40年奉職し、多く
の災害や救急現場で
培った経験は、生涯の
財産です。



祭りとマルシェで街にぎわう

4月29日(火)、一迫地区真坂商店街を会場に「第70回政岡まつり」が開催されました。

この祭りは、伊達騒動を題材にした歌舞伎演目に登場し、命を狙われた仙台藩の幼君を守り抜いた「政岡の局」の功績をたたえるものです。

当日は、政岡役と幼君役を乗せた山車が商店街を巡行した他、伊達武将隊やハツ鹿踊りなどが祭りを盛り上げました。また、同日に「第19回いちばさま軒下マルシェ」も開催され、商店街は、祭りや買い物などを楽しむ人でにぎわいました。



国道398号冬期閉鎖解除

4月24日(木)、国道398号の冬期通行止めが解除され、約5カ月ぶりに通行が再開されました。

国道398号は、東北を横断する道路として市と秋田県湯沢市を結び、観光や物流、災害時の緊急輸送などに重要な役割を持つ路線です。

市と湯沢市双方に設置されているゲートが正午に開放されると、この時を心待ちにしていた人たちが通行を開始。ねじりほんによや関係者に見送られながら、青空の下、それぞれの目的地に向かって行きました。



市長略歴

昭和32(1957)年生まれ 68歳
築館地区在住。昭和50年宮城県築館
高等学校卒業、旧築館町役場入庁。
合併後は、平成24年栗原市教育部長、
平成26年栗原市総務部長、平成27
年栗原市副市長歴任。
令和3年栗原市長就任、令和7年栗原
市長再選。

佐藤 智 栗原市長 就任あいさつ

5月1日、再選により栗原市長として2期目を迎え、引き続き、栗原市政のかじ取り役を担うことになりました。

1期目の4年間では、子育て施策として、学校給食費の無償化、少人数学級の導入、小児科医の開業支援に取り組み、また、高齢者施策では、タクシー利用助成や買い物困難者への支援など、多岐にわたる事業を実現してきました。

このたびの選挙では、1期目4年間の任期の中で実施した事業の実績を評価いただいた結果が、今回の信任につながったものと受け止め、改めてその責任の重さを強く実感しています。

市では、少子高齢化や地域経済の低迷など、多くの課題を抱え、中でも人口減少は喫緊の課題であり、未来を見据えた持続可能な行政運営が急務となっています。

改めてこれからの4年間、人口減少に対応し、明日を担う子どもたちに「豊かな美しいくらはら」を引き継ぐため、確かな実績を重ね、さらなる前進を図る施策を講じると共に、2期目も「市民が創る くらしたい栗原」の実現のため、全力を尽くし、さらなる情熱を持って取り組んでまいります。

また、今年、市は誕生20周年という節目を迎え、まさに今が、次のステージへと進む大切な時期です。

栗原のこれからの10年、20年を見据えた、未来を開く確かな市政運営を行うことで、市民の皆さまがこのまちで暮らして良かったと思えるような、笑顔が生まれるまちづくりを推進していきますので、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。



▲市内小・中学校および義務教育学校で学校給食を無償化



▲市が開業支援を行った小児科医院



▲タクシー利用助成事業